

## Sound Emotion

油断するなよ、若僧

酒場のオヤジ

冒険者

酒場のオヤジ 「いらっしやい。今日はひとりかい？」

冒険者 「ああ。ちよいとワケありでな。」

酒場のオヤジ 「どうした、仕事の話か？」

冒険者 「さすが、察しがいいな。」

酒場のオヤジ 「はは、おまえさんとは長い付き合いだからな。

顔みりゃわかる。」

冒険者 「じゃあ、早速なんだが。

オヤジさん、クルマ鉱山って知ってるか？」

酒場のオヤジ 「もちろんだ、ワシを誰だと思っとる。」

だが、あそこはいま閉鎖しとるだろう。」

冒険者 「いや、あいにく石ころには用がなくてな。」

酒場のオヤジ 「じゃあ、なぜ聞いた？」

冒険者 「どうやらそこにネズミが一匹、まぎれこんだらしい。」

そいつをつかまえてこいと、国からのお達しを受け  
たんだよ。」

酒場のオヤジ 「なるほどな。おまえさんのウデで大丈夫なのか？」

冒険者 「おいおい、心配してくれるなよ。」

それに、今回は用心棒をつけてくれるそうだ。」

酒場のオヤジ 「うーむ、どうも気になるな。」

まあ、ワシが口をはさむことでもないか。」

冒険者 「聞くとところによると、報酬をタンマリいただけるっ

て話だ。そうだったら、この店でパーツと使わせて  
もらうぜ。」

酒場のオヤジ 「期待しないで待つとるよ。ほれ、鉱山までの地図だ。」

冒険者 「おお、サンキュ！ 恩に着るぜ。」

酒場のオヤジ 「いいか、あそこは危険だからな。」

出かける前に準備は整えていけよ。」

冒険者 「わかってるって。それじゃ、行ってくる！」

酒場のオヤジ 「・・・やれやれ。油断するなよ、若僧。」